科目ナンバリング	U-LAS13 10013 LJ60						
授業科目名 <英訳>	化学概論 I Outline of Chemistry I (Its History and Fundamentals)			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授　　中村　敏浩		
群	自然科学科目群	分野(分類)	化学(基礎)			使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	金4	配当学年	主として1回生	対象学生	文系向

[授業の概要・目的]

「化学」は暗記科目との印象をもたれがちであるが、本来、さまざまな事項や式が矛盾なく美しく噛み合ってできている論理構造こそが「化学」の本当の魅力である。本講義では、原子や分子が集団として示す性質を取り扱う巨視的な立場に立って「化学」の基礎概念を丁寧に講述する。本講義を通じて、社会が抱える課題（エネルギー、環境など）の本質を分子レベルで捉え、その解決策を考えるための基礎知識と方法論を修得することを目的とする。

[到達目標]

１．「化学」の基礎概念を学ぶことを通じて、自然科学の方法論を身につける。
２．身の回りの化学現象や最先端テクノロジーを分子レベルで理解するための基礎知識を身につける。

[授業計画と内容]

基本的に以下の授業計画に従って講義を進める。ただし、受講者の理解の状況に応じて、講義を進める速さ（各テーマの時間配分）などを変えることがある。

第１回　膨大な数の粒子が織りなす化学
第２回　固体の性質(1)　結晶の構造
第３回　固体の性質(2)　固体物質の性質
第４回　固体の性質(3)　固体材料の応用
第５回　液体の性質
第６回　気体の性質(1)　理想気体と実在気体
第７回　気体の性質(2)　プラズマ（電離気体）
第８回　状態変化(1)　エントロピー
第９回　状態変化(2)　ギブズエネルギー
第10回　状態変化(3)　化学平衡
第11回　化学反応(1)　化学反応の速さ
第12回　化学反応(2)　化学反応の進み方
第13回　化学反応(3)　酸塩基反応
第14回　化学反応(4)　酸化還元反応
＜期末試験／学習到達度の評価＞
第15回　フィードバック　※フィードバック方法は別途連絡します

化学概論Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

化学概論Ⅰ(2)

[履修要件]

本講義では、化学のあらゆる分野の基礎となる「物理化学」に重きを置いて講義を進める。「化学」に加えて「物理」にも興味があると、講義内容に関する理解がよりいっそう深まる。なお、授業中必要になる知識については、授業内で適宜補足する。

[成績評価の方法・観点]

期末試験（50点）と平常点（小テストあるいはレポートなど）（50点）により評価する。

[教科書]

使用しない
資料を配付する。

[参考書等]

（参考書）
必要に応じて、授業中に紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

復習することをおすすめする。講義内容に対する記憶が新しいうちに、講義内容を整理し、不明な点が無いかどうか確認するとよい。

[その他（オフィスアワー等）]

わからないことについては、授業中あるいは授業後に、積極的に質問することを期待する。

[主要授業科目（学部・学科名）]